



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名 日本ペイント株式会社
 コード番号 4612 URL <http://www.nipponpaint.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 健二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 上岡 晃
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東 大 名

TEL 06-6455-9141
 平成23年11月29日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	106,827	△7.2	5,021	△45.4	6,470	△41.7	3,531	△50.9
23年3月期第2四半期	115,151	12.2	9,205	240.8	11,107	188.0	7,196	159.7

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,499百万円 (△38.3%) 23年3月期第2四半期 4,050百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	13.34	—
23年3月期第2四半期	27.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	258,602	137,957	49.7
23年3月期	265,905	136,610	47.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 128,595百万円 23年3月期 127,447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年3月期	—	4.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	226,000	△0.6	16,000	0.2	19,000	△5.9	12,000	△16.4	45.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	265,402,443 株	23年3月期	265,402,443 株
24年3月期2Q	678,899 株	23年3月期	664,536 株
24年3月期2Q	264,729,387 株	23年3月期2Q	264,881,262 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は別途実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、3月に発生した東日本大震災により国内および海外での顧客の生産活動が停滞した影響を受けました。連結売上高は前第2四半期連結累計期間（以下「前年同期」）と比較して83.2億円減少し、1,068億27百万円（前年同期比7.2%減）となりました。連結営業利益は、世界的な原材料価格上昇に加え、震災の影響による国内外の売上高減少に伴う売上総利益の減少により、前年同期と比較して41.8億円減少し、50億21百万円（前年同期比45.4%減）となりました。また、持分法投資利益が原材料価格上昇の影響を受け減少したことなどにより、連結経常利益は、前年同期と比較して46.4億円減少し、64億70百万円（前年同期比41.7%減）となり、連結四半期純利益は、前年同期と比較して36.7億円減少し、35億31百万円（前年同期比50.9%減）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。なお、海外の事業会社においては一部を除いて12月期決算を採用しており、当第2四半期連結累計期間の対象期間は平成23年1月から6月となります。

《日本》

当地域では、震災の影響により第1四半期の経済活動は低迷しましたが、第2四半期においては、自動車生産などにおいて回復の傾向が見られました。国内の塗料需要については、出荷数量・金額ともに前年同期を下回りました。

このような状況のもと、自動車用塗料については、自動車生産台数が第2四半期以降は回復傾向をみせたものの、上期累計では震災の影響を受け前年同期を下回ったことから、売上高は前年同期と比較して42.4億円減少（前年同期比19.4%減）となりました。

汎用塗料についても、震災の影響により第1四半期において原材料の調達難による供給の遅れや塗装工事の一部に遅れが発生し、第2四半期以降も市場が低調に推移するなか、売上高は前年同期と比較して19.7億円減少（前年同期比10.2%減）となりました。

工業用塗料は、震災の復興活動や建設資材向け塗料などの出荷が増加したことなどから、売上高は前年同期と比較して6.0億円増加（前年同期比3.3%増）となりました。

利益面では、売上高が大幅に減少した影響に加え原材料価格が上昇したことにより、営業利益は前年同期を大幅に下回りました。

これらにより、当地域セグメントの売上高は、前年同期と比較して59.1億円減少し、822億1百万円（前年同期比6.7%減）、営業利益は、前年同期と比較して29.5億円減少し、47億87百万円（前年同期比38.1%減）となりました。

《アジア》

当地域では、震災によるサプライチェーン寸断の影響などにより第2四半期において中国の実質GDP成長率や自動車販売台数の伸び率に鈍化傾向が見られたほか、東南アジア地域においても鉱工業生産の伸びに鈍化傾向が見られました。

総額連結事業については、売上高は前年同期を下回りました。これは、震災の影響により日系自動車メーカーが減産を余儀なくされたことから、タイにおける自動車用塗料の売上高が前年並みとなったことや、中国における自動車向けプラスチック用塗料事業の売上高が前年同期を下回ったこと、また、海運不況の影響を受け、船舶用塗料分野の売上高が前年同期を下回ったことなどによるものです。利益面でも原材料価格上昇の影響を受けたことから、当地域セグメントの営業利益は前年同期を大幅に下回りました。

持分法適用関連会社事業については、第2四半期に入ってから減速傾向が見られたものの、中国における自動車ボディ向け鋼板用塗料の売上高が前年同期で上回ったほか、建物の内装用を中心とする汎用塗料の売上高も前年同期を上回りました。その他のアジア地域における売上高も、前年同期を上回りました。一方、利益面では、原材料価格上昇の影響を受けたほか、前年同期には第1四半期に税効果会計等の一時的要因による利益等を計上していたこともあり、

持分法投資利益は前年同期を下回りました。

これらにより、当地域セグメントの売上高は、前年同期と比較して9.7億円減少し、162億95百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益は、前年同期と比較して9.4億円減少し、7億26百万円（前年同期比56.4%減）、持分法投資利益は、前年同期と比較して8.2億円減少し、24億43百万円（前年同期比25.1%減）となりました。

《北米》

当社は当地域において自動車塗料事業を展開していますが、当地域における自動車生産台数は前年同期を上回ったものの、当社主要顧客である日系メーカーは震災の影響を受け、第2四半期は減産を余儀なくされたことなどを受け、売上高は前年同期を下回りました。損益面では、原材料価格上昇の影響を受け、営業損失は前年同期を上回りました。

これらにより、当地域セグメントの売上高は、前年同期と比較して12.9億円減少し、71億13百万円（前年同期比15.3%減）、営業損失は、前年同期と比較して3.2億円増加し、4億43百万円（前年同期は1億18百万円の営業損失）となりました。

《その他》

当地域セグメントの売上高は前年同期と比較して1.5億円減少し、12億17百万円（前年同期比11.2%減）、営業損失は、前年同期と比較して0.2億円減少し、27百万円（前年同期は52百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して73.0億円減少し、2,586億2百万円となりました。そのうち、流動資産につきましては、前連結会計年度末と比較して24.2億円減少しておりますが、その主な要因は、売上の回復により売上債権が増加した一方で、借入金の返済により現金及び預金が減少したことなどによるものです。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して48.8億円減少しておりますが、その主な要因は、設備投資の抑制に伴う有形及び無形固定資産の減少に加え、保有株式の評価替えにより投資有価証券が減少したことなどによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して86.5億円減少し、1,206億44百万円となりましたが、その主な要因は、借入金を返済したことなどによるものです。

少数株主持分を含めた純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して13.5億円増加し、1,379億57百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が24.7億円増加したものの、保有株式の株価下落によりその他有価証券評価差額金が減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度の47.9%から49.7%へ上昇いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間は、営業活動により21億59百万円の収入、投資活動により14億円の支出、財務活動により85億35百万円の支出があり、結果として現金及び現金同等物（以下「資金」という）は204億96百万円となり、前連結会計年度末より78.5億円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは21億59百万円の収入となりました。主な要因としては、税金等調整前四半期純利益に減価償却費等の非現金支出費用等を加味したキャッシュ・フローの収入により47.3億円増加した一方で、運転資本(売上債権・たな卸資産・仕入債務)の増加により資金が25.7億円減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは14億円の支出となりました。主な内容としては、有形固定資産の取得及び投資有価証券の取得に15.3億円を支出したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは85億35百万円の支出となりました。主な内容としては、借入金の返済72.5億円及び配当金の支払いに11.5億円を支出したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

中国を中心とした持分法適用関連会社の売上高の伸びが減速してきており、平成23年6月23日に公表した通期業績予想を次の通り修正いたします。

平成24年3月期 通期連結業績予想数値(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成23年6月23日予想)	229,000	16,000	21,000	13,200	49円84銭
今回修正予想(B)	226,000	16,000	19,000	12,000	45円33銭
増減額(B-A)	△3,000	—	△2,000	△1,200	
増減率	△1.3	—	△9.5	△9.1	
前期(平成23年3月期)実績	227,378	15,975	20,193	14,350	54円18銭

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,346	20,496
受取手形及び売掛金	72,591	75,496
たな卸資産	26,108	25,624
繰延税金資産	3,102	3,127
その他	3,974	6,797
貸倒引当金	△700	△539
流動資産合計	133,422	131,002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,052	28,411
その他(純額)	34,870	33,834
有形固定資産合計	63,923	62,245
無形固定資産		
のれん	12,180	11,764
その他	4,716	4,387
無形固定資産合計	16,897	16,151
投資その他の資産		
投資有価証券	45,048	42,029
繰延税金資産	3,282	4,323
その他	3,917	3,322
投資損失引当金	△35	△35
貸倒引当金	△551	△437
投資その他の資産合計	51,662	49,202
固定資産合計	132,482	127,599
資産合計	265,905	258,602

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,898	51,472
短期借入金	31,125	31,031
リース債務	249	252
未払法人税等	2,137	2,292
繰延税金負債	4	4
災害損失引当金	1,300	437
その他	12,457	11,499
流動負債合計	99,174	96,991
固定負債		
長期借入金	14,488	7,348
リース債務	502	677
繰延税金負債	1,543	1,497
退職給付引当金	8,434	9,308
役員退職慰労引当金	239	236
環境対策引当金	321	319
関係会社事業損失引当金	7	7
製品保証引当金	597	495
その他	3,985	3,762
固定負債合計	30,120	23,653
負債合計	129,295	120,644
純資産の部		
株主資本		
資本金	27,712	27,712
資本剰余金	27,187	27,187
利益剰余金	85,017	87,492
自己株式	△314	△323
株主資本合計	139,603	142,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	△1,476
繰延ヘッジ損益	△5	△6
為替換算調整勘定	△12,153	△11,991
その他の包括利益累計額合計	△12,155	△13,473
少数株主持分	9,162	9,362
純資産合計	136,610	137,957
負債純資産合計	265,905	258,602

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	115,151	106,827
売上原価	76,370	73,119
売上総利益	38,780	33,708
販売費及び一般管理費	29,575	28,686
営業利益	9,205	5,021
営業外収益		
受取利息	20	20
受取配当金	196	203
貸倒引当金戻入額	—	28
持分法による投資利益	3,263	2,443
その他	441	402
営業外収益合計	3,922	3,098
営業外費用		
支払利息	367	293
為替差損	899	778
その他	752	577
営業外費用合計	2,020	1,649
経常利益	11,107	6,470
特別利益		
固定資産売却益	14	2
投資有価証券売却益	2	1
貸倒引当金戻入額	14	—
災害損失引当金戻入額	—	123
その他	7	4
特別利益合計	39	132
特別損失		
固定資産除売却損	247	52
減損損失	86	—
投資有価証券評価損	17	406
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	78	—
その他	64	7
特別損失合計	494	467
税金等調整前四半期純利益	10,652	6,135
法人税等	2,788	2,296
少数株主損益調整前四半期純利益	7,864	3,838
少数株主利益	667	307
四半期純利益	7,196	3,531

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,864	3,838
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,868	△1,488
繰延ヘッジ損益	6	0
為替換算調整勘定	△1,031	△75
持分法適用会社に対する持分相当額	△921	223
その他の包括利益合計	△3,814	△1,339
四半期包括利益	4,050	2,499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,578	2,213
少数株主に係る四半期包括利益	471	285

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,652	6,135
減価償却費	4,230	3,753
減損損失	86	—
受取利息及び受取配当金	△217	△224
支払利息	367	293
持分法による投資損益(△は益)	△3,263	△2,443
有形固定資産除売却損益(△は益)	233	49
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	14	405
売上債権の増減額(△は増加)	△3,917	△2,538
たな卸資産の増減額(△は増加)	△194	459
仕入債務の増減額(△は減少)	1,899	△490
その他	△755	△1,269
小計	9,136	4,132
利息及び配当金の受取額	939	767
利息の支払額	△428	△342
法人税等の支払額	△2,607	△2,397
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,040	2,159
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,691	△1,516
有形固定資産の売却による収入	40	18
投資有価証券の取得による支出	△550	△13
投資有価証券の売却による収入	33	17
その他	△36	93
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,203	△1,400
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	42	△15
長期借入金の返済による支出	△7,245	△7,233
リース債務の返済による支出	△99	△133
配当金の支払額	△1,059	△1,058
少数株主への配当金の支払額	△119	△86
その他	△4	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,486	△8,535
現金及び現金同等物に係る換算差額	△163	△73
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,812	△7,850
現金及び現金同等物の期首残高	28,522	28,346
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,709	20,496

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	88,114	17,266	8,399	113,780	1,370	115,151
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,650	1,118	165	6,934	208	7,142
計	93,764	18,384	8,565	120,714	1,579	122,293
セグメント利益又は損失(△)	7,734	1,665	△118	9,281	△52	9,228
持分法投資利益	2	3,261	—	3,263	—	3,263

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	9,281
「その他」の区分の利益	△52
セグメント間取引消去その他の調整額	△23
四半期連結損益計算書の営業利益	9,205

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて老朽化により遊休状態になった事業用の固定資産について、帳簿価格を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。また、「北米」セグメントにおいて遊休状態になった事業用の固定資産について、帳簿価格を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、「日本」セグメントで49百万円、「北米」セグメントで36百万円であります。

4. 製品及びサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
塗料	108,294	—
自動車用	38,663	—
汎用	21,144	—
工業用	20,508	—
その他塗料	27,978	—
ファインケミカル	6,856	—
合計	115,151	—

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	82,201	16,295	7,113	105,610	1,217	106,827
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,997	884	93	5,975	307	6,282
計	87,198	17,180	7,207	111,585	1,524	113,110
セグメント利益又は損失(△)	4,787	726	△443	5,070	△27	5,042
持分法投資利益又は損失(△)	△0	2,443	—	2,443	—	2,443

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	5,070
「その他」の区分の利益	△27
セグメント間取引消去その他の調整額	△20
四半期連結損益計算書の営業利益	5,021

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 製品及びサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
塗料	100,012	△7.6
自動車用	32,871	△15.0
汎用	19,194	△9.2
工業用	21,116	3.0
その他塗料	26,831	△4.1
ファインケミカル	6,815	△0.6
合計	106,827	△7.2

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。